

年頭のごあいさつ

二十一世紀に向けた
骨格づくりの重点



町長 齊藤 讓

新年明けまして、おめでとうございます。今年も町民の皆様にとつて、充実・発展の一年となりますよう、心からお祈りいたします。ところで、昨年はバブル経済の破綻によつて、わが国経済は厳しい景気の落ち込みが続

き、この回復の見込みがたないまま年を越す結果となりました。しかもこの間に於て、最も信用を重んじなければならぬはずの金融、証券業界等の無節操極まりない不祥事が次々と暴露され、まじめに働く庶民の心に消すことのできないほど深い不信の傷跡を残しました。

加えて、中央政界では、いわゆる佐川、皇民党問題が火を吹き、その混乱振りは国民の政治不信を一層増幅させ、国権の最高機関である立法府国会の権威を著しく失墜させたことは、誠に遺憾の極みであります。

これら一連の不祥事は、ただ単に国内ばかりでなく、広く国際的信用をも傷つけることになり、わが国が真の民主国家、経済大国として世界の検舞台で主導的役割を果たすべき日が、ますます遠ざかっていくような焦燥感を持つのは、決して私一人ではないと思えます。今こそ、指導的立場にある者は言うに及ばず、国民総てがこの事態に猛省を加え、多

少の痛みは覚悟のうえで国家としての新たな指針を明確に打ち立てなければならぬ時であり、それなくしては豊かさの実感できる社会の実現は、夢幻に帰することになるであります。

わが光町の町政運営にあたっては、このことをしっかりと肝に銘じていかなければならないと考えております。

さて、昨年の町政は、町民の皆さまのご理解、ご支援のお陰で順調な歩みを続けることができました。ここに改めて深く感謝を申し上げます。

平成四年度は第九次三ヶ年実施計画の最終計画年度にあたり、この計画に盛り込まれた事業は、ほぼ目標を達成できる見通しとなりました。特に一昨年の東陽病院、第一期工業団地の完成に引き続き、昨年三月には光スポーツ公園の完成を見、更に懸案の第二期工業団地については、地権者の皆さまのご理解、ご協力により概ね八十五パーセントの用地取得の契約を達成することができました。

また、学校教育、社会教育も充実、安定した状況の中で、大きな成果を挙げ周辺市町村からも高い評価をお寄せいただいております。他市町に先駆けた高齢者生きがい創生事業

広報委員長あいさつ



対話行政としての役割



委員長 畔蒜 清正

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年も「広報ひかり」をご愛読いただいたことと存じ感謝申し上げます。

毎月発行される「広報ひかり」は齊藤町長の政治姿勢の一つであり、対話行政の一環でもあります。対話と言うには、あまりに一方通行的であり、現在、どの

ような町政を行い、将来どのような方針が、詳しく分かりやすくお伝えしているところでもあります。その為、広報委員も先進地を視察したり、いかに愛され、親しまれる広報紙になるか日夜努力研鑽をしております。

皆様は、毎日読む新聞も先ず、一面から読み始める人、或は社会面から読まれ